

特集：
普及への
取り組み

月に1度のお楽しみの普及行事

みやぎオリエンテーリングの集い2006

宮城県オリエンテーリング協会
事務局 菊池正昭

オリエンテーリングの底辺拡大、一般の方へのオリエンテーリングを知るきっかけ、ちよくちよくオリエンテーリングを楽しむ、など、「オリエンテーリングをより身近にすること」は、普及活動にとって最も大事なこともかもしれません。宮城県オリエンテーリング協会では、昨年4月から9月まで毎月1回のペースで市民向けミニイベントを開催しました。その成果は？



一斉スタートの様子

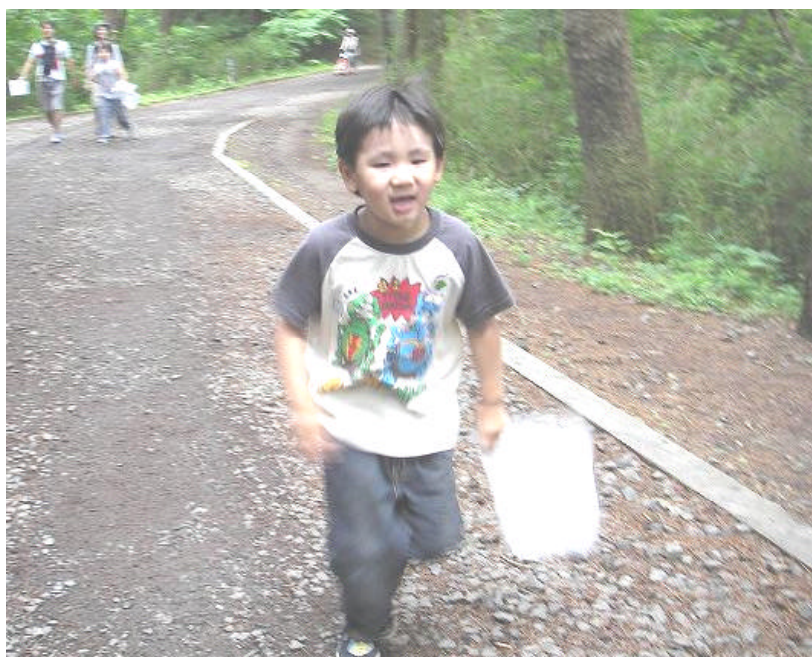
宮城県オリエンテーリング協会です

当協会は、宮城県内のオリエンテーリング愛好者や指導者で構成される相互の助け合いと普及を目的とした組織です。個人会員数名の他、仙台 OLC、東北大 OLC、宮城学院女子大学 OLC がクラブ団体会員となっています。

昨年度までは、当協会としては市民向けのオリエンテーリング普及の決定打を出せずにいました。県協会として出来る事業は、毎年6月に開催していた「全国一斉大会宮城大会」のみで精一杯というのが現状でした。主に普及活動に携われるのが、仙台 OLC 会員を中心に数人のみということから、趣向を凝らしたイベントは難しいと考えてきてあり、大きな大会を継続的に行うことはしてきませんでした。

とにかく「試してみやぎOLの集い」

しかし、「こまめにミニ大会を繰り返し、リピーターを増やす、口コミを増やす」ということが普及には効果的と考えました。そこで、18年度は一つの試みとして、「みやぎオリエンテ-



キッズ走る！

リングの集い2006」と銘打って、月1回のオリエンテーリング体験会を開催しました。この普及活動にあたり、他県の協会さんの活動事例を参考にさせていただきました。ありがとうございました。

さて本県の行事の実際ですが、大きなイベントを開くのではなく、手軽に何度も開けるミニ大会を何度も開くというスタイルで行いました。かといって、マンネリに陥ることで初心者の方に飽きられぬようにと考えて、毎月場所や形式も変えて行いました。また、できるだけ1回2本以上のメニューを体験できるようにしました。以下、実際に行った各回の内容と概要です。

第1回 4月30日(日) 参加15名
(台原森林公園)

・ミニOL ・ポイントOL

第2回 5月20日(土) 参加15名
(宮城県民の森)

・ミニOL ・ポイントOL

第3回 6月24日(土) 参加60名
兼 全国一斉大会(台原森林公園)

・フリーポイントOL

第4回 7月30日(日) 参加19名
(宮城県民の森)

・ミニOL ・ポイントOL

第5回 8月26日(土) 参加25名
(三神峯公園)

・ストリング・スコア・ポイント

第6回 9月23日(土) 参加24名
(宮城県総合運動公園)
・ポイントOL

ミニOL(体験コース)の導入

ポイントOLが基本とすると、基本の競技形式をお話と資料だけで説明することは難しいものです。そこで、実際に体験しながら理解してもらうことが一番と考えて、ミニOL(大縮尺の体験コース、プランナー：矢萩靖さん)をやってもらうようにしました。受付後に10分以内ですぐ回れるように組んだものです。ここで、子供に教える父親の姿なども見られました。希望者に対しては、説明係と一緒にコースをまわるなどしました。子供たちには、本番の練習になってよかったと思います。

公園だから、初級者も一日で3本!

ミニ大会ならではの1日3本、オリエンテーリング三昧もやってみました。あの故米本路憲君が仙台で最後に手かけたO-MAP「三神峯公園」でのイベント(8月26日)では、ストリングOL(「山形さくらんぼ大会」ではお馴染み!宮城県内では史上初の実施!)をキッズの導入として行い、その後、スコアOL(制限時間30分)を行い、最後にはポイントOLを行いました。



ストリングO

スコア OL の後にポイント OL を行うやり方は、福島県で過去にあった「もりもりランド葛尾大会」を参考にしました。ある程度、スコアでいくつかポイントを見つけておくことで、初級者に自信を持ってポイント OL をやってもらうというねらいがあります。より自信を持ってコースをまわると上達したと感じますからね。上達したと感じると（錯覚でも）嬉しくなりますし、次の会への参加の動機になりますよね。

スタンプカード導入

次への動機作りには、「ポイントカード」か？全6回中3回以上で景品をお渡しする「スタンプカード」を作りました（作成：小林啓恵さん）。子供のラジオ体操カードや静岡県協会で事例がヒントとなっています。このカードのおかげで続けて来られた家族のみなさん、76歳にして初めてオリエンテーリングの魅力にはまった方もいらっしゃいました。このスタンプカード、せっかくですから「オリエンテーリングの集い」のみでなく、県内や東北の各大会にも対象を広げていきたいものです。

4/30 第一回 台原森林公園	5/20 第二回 県民の森
6/24 第三回 台原森林公園	7/30 第四回 県民の森
8/26 第五回 三神峯公園	9/23 第六回 グランティ21

3回以上の参加で景品贈呈

スタンプカード

全員に記録証

これは宮城県協会の普及事業ではここ数年ずっとこだわってきたことですが、「すべての参加者にその努力の証を」という理念で、全員に、グループでも一人一人に記録証を県協会後藤公会長から閉会行事で直接手渡して

います。



記録証の授与

ところで、その成果は？

さて、この普及事業の成果ですがどうだったのか。細かな反省・確認・分析をする余裕はありませんでしたが、とりあえずのところ。

各回の参加者の人数は予想通りともいえますし、もう少し多かつたらなあという感じもしています。参加者数は6回の合計で、のべ158名にとどまりました。参加者の層としては、経験者（愛好者）が4割程度で、残りの6割は初級者または久しくOLから遠ざかっていた経験者とその家族といったところ。リピーターが割と多かった印象もありますし、約20年ぶりにやったという方、前述した76歳にして初めてオリエンテーリングの楽しさを知ったという方もいました。いろいろな層の方がオリエンテーリングを楽しんでくれたということは、何よりの成果だと思います。

課題もたくさん、そこから工夫を

とりあえずの試しの1年でした。だからこそ課題も山積んでいます。

まず、宣伝の仕方。せっかくオリエンテーリングの楽しみを味わってもらえるのですから、より多くの方に知ってもらい参加してもらいたいものです。

それから運営体制。今年度はとりあえず仙台 OLC の会員主体で全回とも運営しました。実働？人の体制でした。少ないときは4名での準備が始まり、早く来た参加者の方にも運営の一部を手伝ってもらったこともありましたが（櫻井さん、高泉さんと呼び込んでくれた高橋舞さんに感謝）、できれば、運営体制を2チーム位に分けて交代で運営するようになるといいなと思っています。そうすることで、小さい子供がいる私のような者でも時には参加者に回れます。愛好者として子供と楽しむ姿を見せられることで、オリエンテーリングの楽しみをより理解してもらえないでしょうか。

他にもいろいろありますが、次年度も継続していきたいと思います。他県のみなさん、よいアドバイス・体験談等あれば教えてください。



地図を見る

19年度の予定（まだ素案ですが）

第1回	5/20(日)	台原森林公園
第2回	6/23(土)	台原森林公園
第3回	7/28(土)	宮城県民の森
第4回	8/25(土)	宮城県民の森
参考	9/9(日)	東北大会
第5回	10/20(土)	みちのく公園

(写真提供：青木豊明)

